

青葉台地区

青葉台地区は青葉区の南部に位置し、町名に樹木の名前が多く使われている閑静な住宅街と、青葉台駅を中心とした活気ある商業地区とで構成されています。地区内には2つの地域ケアプラザをはじめ、高齢者、障がい者、子ども等に関する福祉施設が多いことも特徴の一つです。連合自治会や地区社会福祉協議会を中心に、商店会や各種団体・学校・企業等と連携した活動が活発で、住民同士の交流も盛んに行われています。



地区内の町丁目

青葉台一丁目、青葉台二丁目、榎が丘（一部）、桜台、さつきが丘、しらとり台、つつじが丘、若草台

第4期計画の振り返り

- 福祉まつり、焼き芋会等には子どもを含めた多くの地域住民が参加し、地域のつながりが深まった。
- 青葉台地区について話し合う「支えあいネットワーク」に新たな団体が加わり、ネットワークが広がった。
- 認知症の方を地域で支える仕組みとして、住民主体の認知症カフェ、認知症サポーター養成講座等の取り組みが進んだ。
- 地区内の企業、商店、学校と連携して地域行事を盛り上げることができた。
- 障がいや認知症等についてもっと理解し、交流していきたい。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、青葉台南商店会、青葉台商店会、桜台商店会、地域子育て支援拠点ラフル、消防団、あおば地域活動ホームすてっぷ、障がい者後見の支援室ほっぷ、ボランティアコーディネーター、粋生きクラブ、キャラバンメイト連絡会、しらとり台公園プレイパーク、青空保育ぺんぺんぐさ、ゆめポケット

担当地域ケアプラザ：さつきが丘地域ケアプラザ、青葉台地域ケアプラザ

地域で行われている活動



福祉まつり



認知症カフェ



スマホ教室

めざしたいまちの姿

みんなが活躍し、 ふれあいが深まるかがやくまち

目標1 顔の見える地域コミュニティをつくろう!

取組

- 各自治会のおまつり、福祉まつり、焼き芋会などの地域行事を開催し、参加することで、世代の垣根を超えて子どもから大人まで顔見知りになる
- 青葉台地区支えあいネットワーク*を通して、地区内で活動する団体同士が情報交換を行い、課題や今後の方向性を共有することで横のつながりを作っていく
- 地域清掃・花植えや防犯パトロールの活動を通し、地域住民全体で綺麗で安全な青葉台地区を維持していく
- 企業、商店会、教育機関と連携してイベント・行事を実施していくことで、まちの協力者を増やす

目標2 すべての住民を地域で温かく見守っていこう!

取組

- 日頃から住民同士で挨拶をし、つながっていくことで、困りごとを抱えた時、周りで気づけたり、本人が発信できるようにしていく
- 子どもから大人まで世代を超えて住民同士が交流し、地域で見守り支えていく(ふれあい広場、子育て広場等)
- 防災訓練に参加することにより、災害時に住民同士で助け合う体制を作っていく
- 地域の中で、認知症の高齢者や障がい者への理解を深める機会を作る

目標3 地域情報をより多くの住民に伝えていこう!

取組

- チラシを子ども達に作ってもらうなど、多くの方に地域活動に興味・関心を持ってもらえるよう、回覧板や掲示板などによる広報のやり方を工夫する
- 活動内容が一目で分かるよう、のぼり旗などを利用し、誰でも参加しやすくする
- 青葉台連合のホームページを活用し、各自治会やケアプラザなど地区内の様々な情報を若い世代、子育て世代にも分かり易く伝えていく
- 青葉台地区支えあいネットワークの活動の様子を地域に情報発信していく

*青葉台地区支えあいネットワーク:青葉台地区で活動する各種団体、委員等が年に数回集まり、それぞれの情報交換、地区の課題・今後の方向性の検討、特定のテーマに関する勉強会等を行う場。ネットワークの様子は「青葉台地区支えあいネットワーク便り」によって定期的に住民へ発信している。